

令和3年4月8日

御挨拶

創立44年を向かえる本校では、校訓にある誠実・叡智・進取の精神を人生の柱として心に刻み、生徒の皆さんが日本の社会や世界に、より広く飛翔してほしいものと考えております。

また、本校の校章は県の木『イチイ』の葉と高校の高の字を組み合わせ形づくられており、3つのどがりは、知育・徳育・体育の教育を象徴しています。校訓にあります精神と校章に象徴される教育内容をさらに充実向上させ、これまでの伝統を継承しつつ新たな歴史を築いてまいります。

現在、コロナウイルス感染症にともなう多くの対応により、生徒、保護者、地域の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしていることをお詫び申し上げます。

1年以上も世界規模で猛威を振るい数十万人以上の死者を出しているコロナウイルスに対して、本当に一人一人が自ら考え、必要なことを正しく選択し、正しい行動することが大事であると考えたとともに、当たり前な生活や当たり前な日常が、いかに大切だったかを、私は今思い知らされています。本当に大切なこと、本当に大切なものは、命です。健康が何より一番大切であり失ってから気付いても遅いものなのです。

生徒の皆さん並びに保護者の皆さんにおきましては、引き続きコロナウイルス感染症対策に際して作ることなく継続対応していただきたいと思っております。

現在、私が生徒に願うことは2つです。

1つは、『当たり前のことをバカにしないで、ちゃんとする。それができる人』になることが、いま重要だと思います。

2つ目は、『今、現在をどの様に過ごすべきかを考える。』ということが大切だと思います。生徒の皆さんは、今、何をやる時期なのでしょう。『将来の夢を叶えるため努力する。今の自分を見つめ直す。様々なことを色々と自分自身で考え自分を鍛える行動を行う。』今こそ、色々と自分で考え是非行動してもらいたいと思っております。

このコロナ危機に際し、生徒の皆さんの行動や生活の送り方・在り方に、私は本当に期待しています。

保護者・生徒の皆様へ、日々の劇的な変化や予測が難しい状況の中、ご苦勞が多いことと思っておりますが、羽島北高生の成長のため職員一同精一杯取り組んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力、ご助言をよろしくお願いいたします。

岐阜県立羽島北高等学校
校長 林 靖